

# なにかまの



NO.531 全日本建設交運一般労働組合秋田県本部機関紙  
2020年10月5日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29  
TEL018-823-7748 fax018-823-7751  
Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp

## 貧困が長期に、大幅に拡大している

9月27日、全労連の最低賃金のオンライン学習会が県労連で開催されました。全国100か所で視聴が行われました。コロナ禍のためインターネットを使った学習会や集会在さかんに行われるようになりましたが、参加者がプロジェクターで大きく映された画面を見、講演者や報告者がそれぞれ住んでいる場所からパソコンを通じて話をし、質問にも答えるオンライン視聴は、便利なものだと感心しました。

都留(つる)文科大学名誉教授の後藤道夫さんの講演が印象に残ったので、以下紹介します。講演のタイトルは「貧困長期大幅拡大の中心要因…女性の法外な恒常的低賃金+男性賃金の大幅下落」で、現在の日本の状況を言い当てている内容でした。

講演の内容は、総務省の就業構造基本調査からみた数字をもとに、労働者の置かれた現在の状況を分析し、貧困が大幅に拡大している状況が具体的な数字を示して語られました。たとえば★男性の年功賃金がぐすれ、年収300万円台に集中してきていること、…この実態は秋田県内の建交労組員のトラック労働者の実態と重なります。★無配偶(婚姻関係にない)非正規の女性労働者が1997年226万人から2017年432万人に、無配偶男性労働者が1997年110万人から2017年262万人に激増していること…私たちの周りにたくさんいます。★人手不足は生産年齢(15歳以上65歳未満)人口が減っている状況で、全体の仕事量があまり変わらないので当然であること、★食べていけない雇用(最賃に近い時間給で、その人の賃金だけで暮らしを維持)がいくら広がっても経済はまともにまわっていかないこと、★貧困層の賃金を上げることが消費を増やすことに確実につながること…より貧困化が広がっている、★長時間労働が正規労働者の賃金水準をкаろうじて確保していること、★最賃が2ケタ引き上げになっても雇用の確保とは両立できていること等。

10月1日から秋田県の最低賃金は、時間給792円です。東京などの大都市との格差是正(東京とは221円の格差)、全国一律の最低賃金・時給1,500円をめざして、力を合わせましょう。



## 政治を変えてコロナ危機乗り越えよう

八面六臂(はちめんろくべい)

「アベノミクス」3本の矢」当時は3本だった。首相官邸のサイトにはアベノミクスの解説がまだ残っている。2本目の矢は「機動的な財政政策」とある。財政政策とは「国が金をじゃんじゃん使って景気を引き上げ、法人税減税に限らず所得税減税やときには消費税減税で景気を引き上げ」ること、「財政再建とは真逆の政策」だとされている。▼ところが現実には増税だらけだった。景気回復もままならないのに2度もの消費税増税、震災復興もまだなのに25年間も続く復興増税、「福祉財源のための消費税」と言っておきながら給料から天引きされる社会保険料はうなぎのぼり。今年猛威を振るっている新型コロナウイルスに至っては「コロナ増税」が検討され始めた報道されている。新型コロナウィルスまん延で、リーマンショックを超える経済悪化が確実なのにいまだ減税の気配すら無い。▼そうこうしているうちに安倍首相が退陣してしまった。アベノミクスが終わってしまった。成功か失敗云々の前に「うやむやになってしまった」▼秋田県出身の総理大臣が誕生した。早速本社から「菅義偉総理大臣 就任おめでとうございませう」のポスターが送られてきた。この誰が用意したかはわからないが目立つところに貼っておくように指示されたらしい。▼就任直後のテレビ番組で「消費税は将来的に10%より引き上げる必要はあるか」と問われ、「〇」と回答し、世論から反発の声が上がると次の日には「あくまで将来的な話」として消費税増税を引っ込めてしまった。もしあの時、国民世論の反発がなかったら消費税増税が強行されたのかと思うとぞっとする。総理は「今後10年間は消費税増税しない」と言っているものの「それ以外の何かの増税」があるような気がしてならない。

(論)

## トンネルじん肺根絶第6陣 東北ブロック訴訟和解成立



9月30日、仙台地裁において、トンネルじん肺根絶第6陣東北ブロック訴訟の原告6名全員の和解が成立しました。第6陣訴訟は全国7地裁で合計79名の原告が被害救済を求めていましたが、仙台地裁の和解は、

東京地裁、福井地裁に次ぐ全国3番目の和解成立です。元々は3月末に和解の予定でしたが、裁判所の都合により延期されました。

その後は新型コロナウイルス感染症対策のため和解の日程が組まれません。当日は、新型コロナウイルス感染症対策のため、原告が仙台地裁に集まることは出来ず、弁護団の代表3名が裁判所で和解手続きを行いました。記者会見(写真)では、原告団からのメッセージを岩手農林支部の工藤書記長が代読しました。

## 県労連が定期大会開催

建交労が加盟する秋田県労連が9月6日、第32回定期大会を秋田市内で開きました。県本部からは役員1名と代議員2名が出席しました。役員として県本部の佐藤書記次長が副議長に、鈴木執行委員が会計監査に選出されました。石塚委員長が長く務めた会計監査を退任しました。

## 県本部第22回定期大会の案内

とき 10月25日(日) 10時~13時

ところ サンライフ秋田(秋田市八橋)2階大研修室

今年の大会はコロナ禍のため、感染予防対策上、昼食をはさまず、来賓のあいさつは行いません。さらに代議員数を減らしておこないます。県本部大会は支部、分会ごとの代議員と役員で構成します。傍聴を希望される方は、あらかじめ事務所にご連絡ください。

なお感染予防対策のため、参加者はマスクの着用をお願いします。また玄関での検温、手指の消毒にご協力ください。発熱や体調不良の方は、出席をひかえてください。

### 貧困と格差広げたアベノミクスから脱却を 消費税を5%に 経済再生は暮らし応援で

消費税増税と新型コロナウイルスの感染拡大で、日本経済は危機的に落ち込んでいる。安倍首相辞任後、経済再生に必要なのは破綻した「アベノミクス」と決別し、消費税引下げなど国民生活優先の経済政策へ転換することだ。

#### 2018年10月には後退局面だった

安倍前首相が政権復帰から、最長の拡大が続いていると自慢していた景気も、18年10月で終わり、後退局面に入っていたことを政府も認めた。そのさなかの19年10月、2度目の消費税増税を強行した責任は厳しく問われる。安倍首相が12年末の政権復帰直後に打ち出した「アベノミクス」は、大規模な金融緩和、積極的な財政出動、規制緩和による「成長戦略」、「異次元」の金融緩和で、日銀が市中に大量に資金を供給し、消費者物価を引き上げればデフレから脱却し、「好循環」というシナリオである。



そのおかげで金融緩和によって株価は2倍に上昇。大企業や大資産家の利益は増えた。しかし、国民の雇用や消費は停滞が続く。大企業の内部留保は20年1~3月期、500兆円近くの488兆円に膨らんだ。一方で、実質賃金指数は15年を100とすると、12年は104.5だったが19年に99.9に下がり、20年1~6月平均では93.4に低下した。

労働者全体に占める非正規労働者の割合も上昇し続け、13年平均で36.6%だったのが、19年には38.2%に達した。超高額所得者が増加する一方で、年収200万円以下のワーキングプア（働く貧困層）は、06年以來ずっと1千万人を超えたままである。大企業のもうけ優先の政策では、貧困と格差の拡大は緩和できない。個人消費が伸びず経済は立ち行かなくなっている。安倍政権の失政は隠しようがない。

#### 各国で減税

日本経済を決定的に悪化させたのは、14年4月と19年10月の2度にわたる消費税増税。しかも、大企業の法人税減税の穴埋めのためだった。個人消費と中小零細企業に痛手となり、家計の消費支出は増税前に比べ、大幅に減少した。これに新型コロナの感染拡大が追い打ちをかけ、今年4~6期のGDPは年率で前期に比べ3割近い大幅な落ち込みとなった。OECD（経済協力開発機構）のアンヘル・グリア事務総長は「一時的な付加価値税（消費税）の減税」を企業支援策として提唱している。

これを受け、ドイツは7月1日、年末までの半年間にわたって付加価値税の標準税率を19%から16%に引き下げる措置を始めた。生活必需品などの軽減税率も7%から5%に引き下げた。イギリスも7月15日、飲食や宿泊、娯楽などの業種で来年1月12日まで、付加価値税の税率を20%から5%に引き下げた。韓国でも付加価値税の納税を免除するなど各国がすでに減税を進めている。



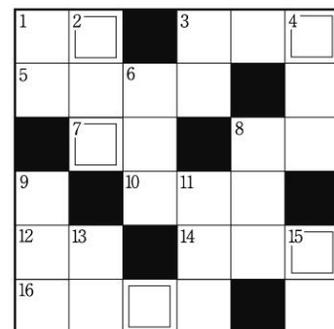
台風10号が吹き荒れた後、急に朝夕は涼しくなり、下着一枚の生活ではしのぎ難くなりました。失業対策事業の仲間たち約5千人の組織で闘いぬいた田川支部も今では20数名の組織に後退しました。生きるすべをうばわれた仲間たちの生活は、ますますさびしさを増しています。菅内閣の誕生で「国民のために…」などと言っています

「暑さ寒さも彼岸まで」と先人たちの言い伝えは現代には通用しないみたいで、今年は9月になっても猛暑日を記録するなど厳しい残暑でしたが、ようやく秋の気配が感じられるようになってきました。コロナ禍の中、秋田県出身の菅総理の誕生となりましたが、令和おじさんで終わらず、一定の成果をあげてことを期待します。

佐藤正樹 58歳

## 仲間の声

### クロスワードパズル



カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何ですか。

- 【タテのカギ】①——の上にも3年 ②——がないのはよい—— ③——ともすんとも ④葡萄酒 ⑥人数——をとる ⑧鍋焼き——、狐—— ⑨売り手の対 ⑪——惨憺 ⑬——より証拠 ⑮三——海岸、上——、大——

- 【ヨコのカギ】①役柄が——に着く ③あの人は大臣の——ではない ⑤本屋 ⑦3割3分3—— ⑧——命、幸—— ⑩——交通省 ⑫黄昏——に染まる ⑭心の働き。群衆—— ⑯天ぶら苺の略

#### 【前回の答え】 台風目 (タイフウノメ)

応募者3名、正解者3名でした。ダンブ支部の佐藤正樹さん(58歳)に1,000円の図書カードを送ります。答えをハガキかファックス、メールで送ってください。正解者の中から1名の方に1,000円の図書カードを贈ります。その際、住所・氏名・年齢(さしつかえなければ)・支部・分会名を忘れずに書いてください。初めての方の投稿大歓迎です!

応募のしめ切り⇒10月25日の消印まで有効。発表は次号で。

ヒント→○○○ド○…ハクチョウや雁  
余白に意見や組合への要望などを必ず書き添えてください。とく名、ペンネーム可。

仲間の皆さん、ふるって応募を!  
《あて先》〒010-0976 秋田市八橋南1丁目2番29号  
Fax. 018-823-7751  
建交労秋田県本部「なかま」クイズ係

総裁選に立候補した中でただ一人、石破氏だけは政治家としての理念と真摯さを感じ取れた。(もちろん私とは根本的なスタンスは違っけれど)

農林支部の委員長を長い間つとめ、県本部の委員長も少しつとめた沼倉です。機関紙なかにまのついている八面六臂のあきたこまちの記事に興味をそそられ、これを書いています。

アベ政権の継承をするか明言する菅政権が誕生した。そして菅氏はモリカケ、さくらなどの諸問題は解決済みだと明言している。就任を祝って秋田県、それも特に地元の秋の宮は熱狂の渦の中、お祭り騒ぎらしい。コロナでお祭り自粛したから無理もないかも知れない。その渦中で私は「悪夢のようなアベ政治はまだつづくのか」と嘆息する。

私もあきたこまちが出て以来、ずっと栽培しています。くわしいきさは、今はじめて知りませんが、今でもあきたこまちはこの地方の主流です。今後生きつづけてゆくとおもいます。



由利本荘市・個人加盟  
笹 耕市 73歳

農林支部・沼倉昭二 86歳